

花みずき



第156号

令和2年12月発行

ひのみね支援学校 人権進路課

寒さが厳しい季節になりました。新しい生活様式にも慣れたと感じる日々です。2学期は、人権と進路のPTA研修会にご協力いただきありがとうございました。今回の人権進路通信『花みずき』は、2学期を振り返ります。新年もよろしくお祈りします。

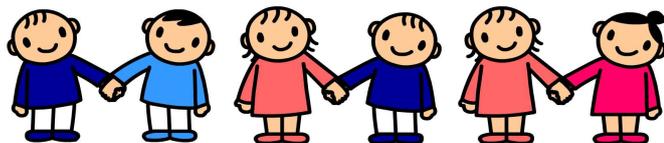
学習の中にある道徳

道徳教育推進教師 山田千代

「特別の教科 道徳」という言葉を聞いたことはありますか？新しい学習指導要領に改訂された時に、道徳が教科として位置づけられることになりました。本校も小・中学校と同様に変わっています。校内を見渡すと、時間割りに「特別の教科 道徳」があるクラスは限られています。しかし、時間割上の表記はありませんが、全てのクラスにおいて「特別の教科 道徳」は取り組まれています。

あるクラスでは植物に触れて見て匂って、「あれ、この匂いは・・・」。友達と一緒に活動して「〇〇ちゃん、あんなことしている」、「この声は・・・」。他にも、自分の得意なことや苦手なことなどを考えながら自分を見つめたり、人の気持ちを考えたり、ルールやマナーを学んだりしています。いろいろな子ども達が通う本校ですが、大切にしていることの1つにあるのは、『体験を通して学ぶこと』。触れて、

感じて、考えながら・・・、これからも豊かな心を培っていきたいと思っています。



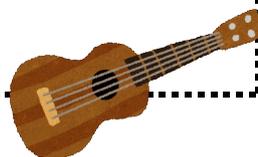
PTA人権教育研修会（人権コンサート）



12月9日水曜日、高知県より全盲のミュージシャン、堀内佳さんをお招きしました。全国でコンサートを行ったり、ラジオのパーソナリティなどでも活躍、数々の賞を受賞されています。研修会では、「いま、しあわせに生きるために！」というテーマで歌とギター演奏、様々なエピソードをお話しして下さいました。会場中が堀内さんの優しい歌声と、軽妙なトークの中の温かく熱いメッセージに引き込まれ、それぞれの日常を振り返って考えるよい機会となりました。

特に、自分のこと、両親からの言葉、子どもたちへの語りかけ、気持ちを表すギターの素晴らしい音色・・・「障がい者として生きるな、一人の人間として生きろ」「自分で無理と決めないこと、まずやってみよう」「絶対自分のことを嫌いにならないように」「がんばっている自分を一番知っているのは自分」など、心に染みしました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2回公演していただいたことも、大変ありがたく思いました。

「♪君は気づいてるか 君が生きてることそれだけで しあわせになる人がいるんだ」（『そのままの君で』）生きる勇気をもらえますね！



PTA進路研修「施設・事業所説明会」

9月9日(水)に実施した研修会には11名の保護者が参加されました。本校卒業生が利用したり、本校生徒が実習に行ったりしている3カ所の施設の方にお越しいただき、施設の概要について、たくさんの写真や資料を用いたわかりやすい説明を聞くことができました。昼食や医療的ケアに関する質問にも答えていただきました。医療的ケアに関しては、各施設で看護師さんの配置がありますが、現在、吸引は3カ所とも対応可能ですが、経管栄養や気管切開の方の受け入れ等については対応が異なっており受け入れが難しいところもあるとのことでした。参加された保護者の皆さんのアンケートでは、「一度に3カ所の説明が聞けて良かった。」「それぞれの事業所の特色がわかった。」「実際に見学したい。」等の感想があがっていました。教員は後日録画した映像や資料により研修を行いました。



【日の出こすもす】

徳島市国府町南岩延字西野895-15

利用時間 10:00~15:30

定員 生活介護(15名)

【障がい者地域生活自立支援センター(ばんそうS&S)がんばれる作業所】

阿南市那賀川町八幡石塚30-1

利用時間 9:00~16:00

定員 生活介護(14名) 就労継続支援B型(20名) 就労移行支援(6名)

【ケアセンターれもん】

名西郡石井町高川原字市楽501-1

利用時間 10:00~15:00

定員 生活介護(9名)



※各事業所の定員は1日あたりの人数です。2カ所以上の施設を併用している方が多く、実際の登録者数をもっと多くなっています。

進路学習

○就業体験

2学期には高等部2年生が次の施設等で就業体験を行いました。

生活介護：眉山園デイセンター(徳島市庄町)

就労継続支援B型：社会就労センターかもな(徳島市庄町)

就労支援センターハーモニー(板野郡藍住町)

健祥苑 授産センター金太郎(徳島市応神町)

テレワーク実習：特定非営利活動法人JCIテレワーカーズネットワーク(鳴門市大麻町)等

○卒業生とのテレビ会議を使った進路学習

11月30日(月)5校時 中学部1組、高等部21・31HRを対象とし、テレビ会議を使って、がんばれる作業所を利用している卒業生から施設での活動内容について話聞いたり、施設の様子を見せてもらったりしました。本校生徒の質問にも答えてもらい、卒業後の生活についてイメージをもつ機会となりました。

